

令和6年10月4日  
山梨県民信用組合

## 第28回経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議（アドバイザリーボード）」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第28回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第29回会議は令和6年12月以降に開催を予定しております。

### 記

#### 1. 日 時

令和6年7月31日(水) 12:00～16:00

#### 2. 場 所

山梨県民信用組合 南口本部3階会議室

#### 3. 出席者 <五十音順、敬称略>

岩下 和彦	山梨県商工会連合会 会長
加藤 隆博	公認会計士
波木井 昇	山梨県立大学 名誉教授
深澤 嘉彦	元金融機関役員
依田 誠二	公益財団法人 やまなし産業支援機構 理事長

#### 4. 南理事長挨拶要旨

委員の皆様にはお忙しい中、また猛暑が続いている中、御出席を賜りお礼申し上げる。

お客様を訪問し、気づいたところが二つ。山梨県の景気、お客様の状況は、総じて見れば上向いているのではないかと感じる。しかしながら、10人に聞くと8人が悪いと言う。良いところと悪いところの差が出てきており、ギャップが生まれているのではないか。また、もう一つは変化に対応していくということ。果樹園のお客様でマンゴーの栽培を始めた方もおり、異常気象を異常ではなく変化ととらえ素早く対応されている。当組合も現状に速やかに対応していく必要があると感じている。

信用組合としての役割をもう一度見つめなおし、山梨県の経済を支える一助になれるよう営業していきたい。限られた時間であるが、忌憚のないご意見をいただき経営に活かしていきたい。

## 5. 当組合からの説明要旨

当組合より、以下の内容について説明いたしました。

- ・令和5年度決算概況および「経営強化計画」の取組状況
- ・「令和6年度事業計画（計数計画）」について
- ・「令和6年度事業計画（施策計画）」について
- ・不祥事件公表後の対応に関する件
- ・前回提言にかかる取組状況

## 6. 意見交換

出席者の皆様からいただいたご意見ご提言等

- 今いる人材にどれだけいてもらえるか、平均在職年数を伸ばし、人材確保に繋げる施策を検討していただきたい。
- 事業計画に預金推進項目を独立項目として提示していただきたい。
- 参加者の心理・脳の働きを考慮した研修・会議の運営手法を実践していただきたい。
- 事業者に対してプッシュ型で早期に支援をお願いしたい。
- 職員のスキルアップを継続し、人材育成を強化していただきたい。
- 外部支援機関との連携を強化していただきたい。
- 新規創業希望者をいかに支援していくかを考えていかなければならない。
- 成長可能性のある融資先に対して連携して対応していただきたい。
- どういう切り口で人材採用をしていくか考えていただきたい。
- 預金と同時に、株式や投資信託など世の中の関心があることについても検討していただきたい。

以上